



# 化学総連 政策活動 令和7年度化学産業施策要望項目について

2024年6月19日に開催した幹事会にて、化学総連の令和7年度化学産業施策要望項目を組織決定しました。産別組織として化学産業の持続的な発展やそこに働く組合員の雇用の安定などに向け、これらの要望項目を省庁や議員、業界団体などに対して説明・陳情していきます。

## 要望項目とポイント

※化学総連要望の詳細は第47回定期大会議案書に記載予定

### 1. 化学産業の発展に資する施策について

- 石油化学製品製造向け原料に係る揮発油税、石油石炭税の本則非課税化
  - イノベーション推進に資する研究開発税制の継続・充実
  - 化学物質規制における諸外国への動向把握および意見
- ・石油化学製品製造向け原料に対する免税特別措置にして本則非課税化を求める
  - ・研究開発税制の控除計算式に対して、研究開発投資に対する企業姿勢を評価する「前年比較ではない指標」を検討するよう求める
  - ・欧州をはじめとした昨今の化学物質規制動向に対して科学的知見に乏しい事案などについては、産業発展の妨げにならないように政府からも意見していただくよう求める



### 2. 気候変動問題におけるエネルギー施策について

- 炭素賦課金における原料ナフサの対象外恒久化
  - カーボンニュートラルへの意識醸成および人材育成支援
  - カーボンニュートラルの取り組みに対する信頼性向上
  - エネルギー安全保障も含めたエネルギー転換設備への支援
  - 再生可能エネルギー普及に対する支援
  - リサイクル促進支援
  - 高圧ガス製造保安責任者免許取得に対する施策
- ・カーボンニュートラル実現に向けて、化学産業に対する投資支援や人材育成支援など税制・投資・事業・人材に対する各種支援を求める
  - ・リサイクル促進として再生資源の回収および調達に対する支援を求める
  - ・CCUSや水素貯蔵など高圧ガス設備の導入が増えると想定し、高圧ガス免許取得機会や講習・検定の増加を求める



### 3. 従業員が安心・安全かつ生き活きと働くための施策について

- 高齢者雇用促進のための年金制度改革
  - 安心して働ける税制・社会保険制度構築
  - 働き方や健康面に配慮した副業・兼業の促進
  - 今後の産業保安に対する法解釈の統一化
  - 正確な所得の把握と公平な手当支給・控除の実現
- ・年金や手当・控除の公平性や透明性を求める
  - ・25年度に検討予定の社会保障制度や年金制度について安心かつ生き活きと活躍できる労働環境に資するよう慎重な検討を求める
  - ・本業に生きる副業・兼業の活用として、働き方や健康面への配慮など企業が正しく・効果的に副業・兼業を活用できるようガイドラインのタイムリーな反映・更新を求める
  - ・産業保安向上に向け、官民連携による安全実証データの早期取得・蓄積や法整備を求める



### 4. 日本の未来を担う人材育成に必要な施策について

- 産業発展に繋がる人材育成
  - 博士課程進学率向上と取得後のキャリア支援
- ・働く上で必要となる分野や、日本の成長・注力分野に対して、早期の魅力化やリテラシー向上に向け、コンソーシアムの活用など産官学連携での取り組みを期待する
  - ・リ・スキリングについては、社会人の再教育環境整備、企業の生産性向上や個人のキャリア形成につながるよう支援を引き続き求める
  - ・博士号に対する社会的価値を高めるために、文科省事業の着実な実施および博士課程在籍者への経済支援策の継続的な実施を求める



## 経済産業省 製造局へ要望書提出、内容説明(2024年6月25日 経済産業省にて)



化学総連 政策局長 下田 化学総連 会長 瓜生 経済産業省 製造局産業課長 土屋 土屋 素材産業課長への要望書提出



要望内容についての意見交換

※要望書提出については6月27日発行の化学工業日報にも掲載されました

# 化学総連活動報告

## 【地連との情報交換会】

大阪地連および新潟地連との情報交換会を開催し、地連活動や運営に関する質問や困り事、地連活動をより活性化させるためにはどうしたらよいのか、組合員への認知や参画を高めるためには何が必要か等を協議しました。

各地連の参加者からいただいた意見は更なる地連活動強化に向けて参考にさせていただきます。



大阪地連との集合写真



新潟地連との集合写真

地 連	大阪地連	地 連	新潟地連
日 時	2024年3月25日(月)	日 時	2024年5月16日(木)
場 所	大阪長堀貸会議室(大阪)	場 所	ミュゼ雪小町(新潟)
参 加	37名(大阪地連18名)	参 加	33名(新潟地連15名)



大阪地連 A 班



大阪地連 B 班



大阪地連 C 班



大阪地連 D 班



新潟地連 A 班



新潟地連 B 班



新潟地連 C 班



新潟地連 D 班



新潟地連 E 班



新潟地連 F 班

## 【2024年度第2回全国地連代表者会議】

日 時 2024年5月27日(月)～28日(火)  
 場 所 ホテルグランヴィア和歌山(和歌山)  
 参 加 34名  
 施設見学 本州化学工業(株)和歌山工場



工場見学後の集合写真

第2回全国地連代表者会議は三井化学(株)の関係会社である本州化学工業(株)和歌山工場見学も併せて和歌山県にて開催しました。

本州化学工業(株)和歌山工場の見学では、工場概要について説明いただいた後、2班に分かれて工場構内を見学させていただきました。工場と市街地が隣接していることもあって騒音や匂い対策をしっかりとされているのが印象的でした。また、質疑応答では労働災害に関する情報や人材流動化に伴う人材採用面での取り組みなどについてご回答いただきました。

会議では、各地連から提出いただいたテーマアップアンケート結果の共有や各地連での活動取り組み事例を発表いただきました。コロナ禍が明け、地連活動の活発化し、ご家族も含めたボランティア活動や文体行事、講師を招いての研修セミナー開催などの取り組み事例報告をいただきました。

また、次年度に向けて地連活動強化委員会に要望したいこと、ルールや規程見直しをお願いしたい点等について地連代表者よりご意見をいただきました。各地連からいただいたご意見は地連活動強化委員会を中心に議論のうえ対応したいと思います。



本州化学工業(株)に対して感謝を伝える瓜生会長



工場概要説明の様子



質問する矢羽田さん  
(熊本地連)



会議の様子



開会挨拶する村松委員長



説明する下田政策局長



事例紹介する吉野さん(大分地連)  
藤井さん(広島地連)



事例紹介する白石さん  
(千葉地連)



事例紹介する落合さん  
(群馬地連)

## 【エネルギー関連施設見学会】

(株)レゾナック川崎事業所にてエネルギー施設見学会を開催し、川崎事業所の概要説明を受けた後、同事業所内にある川崎プラスチックリサイクル(KPR)の工場見学および講演会を実施しました。

川崎プラスチックリサイクル(KPR)の工場見学では、同社はケミカルリサイクルプロセスによって使用済プラスチックから「グリーン」なアンモニアを製造されており、破碎成形工程やガス化工程の設備を見学させていただきました。

講演会では、一つ目にレゾナックご担当者様より、工場見学設備の詳細説明も含め廃プラの入札状況や仕組みについて講演いただきました。日本の廃棄プラスチックの処分状況やこれまで焼却が主体であった衣類廃棄物のリサイクルを目指す取り組みなどリサイクルの現状と課題についても説明いただきました。参加者からは、川崎事業所内の設備やガス化炉に関する技術的な質問などが挙げられ、講演時間ぎりぎりまで質疑応答が行われました。

また二つ目にエネルギー政策委員会の活動報告を、同委員会委員長である河村副会長に説明いただきました。化学総連の活動内容も含め、日本国内のエネルギーをめぐる動向やエネルギー政策委員会の活動内容について詳細に説明し、化学総連の取り組みについて参加者に理解を深めていただきました。



ガス化炉前で集合写真



質問する植竹さん  
(AGC 労働組合)



質問する戸田さん  
(三井化学労働組合)



質問する山澄さん  
(JNC 労働組合)



質問する田中さん  
(ダイセル労働組合)



質問する小瀬村さん  
(積水化学労働組合)



事業所概要説明の様子



工場見学 (ガス化炉)



工場見学 (KPR 内)



講演会の様子

### 日 時

2024年6月4日(火)

### 場 所

(株)レゾナック川崎事業所  
川崎プラスチックリサイクル  
工場見学(神奈川)

参 加 28名

## 【第11回海岸林再生ボランティア】

公益財団法人オイスカの海岸林再生プロジェクトのボランティアを開催し、14日(金)は全積水労働組合連合会と合同で実施しました。

作業に入る前にオイスカの吉田さんより作業の目的や内容の説明いただきました。今年度は昨年以上に毛虫が大量発生したため、1日目は毛虫駆除中心に行いました。マツの幹・葉に潜んでいるマツカレハ(5cm以上)やドクガ類に殺虫剤をかけて駆除を行い、参加者も最初はおっかなびっくりで作業されていましたが、時間が経つに連れて慣れていき、次の日には毛虫をすぐに見分けることができました。



1日目集合写真



2日目集合写真

2日目には、松の木に絡みつき光合成を妨げ、成長を阻害する葛と呼ばれるつる性の植物を取り除く作業を中心に行いました。葛は根っこから除去する必要があるため、作業姿勢がほぼ四つん這い状態となり、参加者も前日以上に汗を流しながら作業されていました。全員で力を合わせて作業に打ち込んだ結果、二日間でもかなりの面積のクロマツの育成に貢献することができました。



作業説明する吉田氏



毛虫駆除の様子



松に寄生するマツカレハ



高い場所も丁寧に駆除



葛除去の様子



葛を除去する瓜生会長



休憩中の一コマ  
(レゾナック労働組合)



根付く葛に悪戦苦闘



丁寧に根から除去

日 時	2024年6月14日(金)～15日(土)	場 所	宮城県名取海岸
参 加	14日(金)95名、15日(土)41名		

## 【第17回安全担当者会議】

**日 時** 2024年6月20日(木)～21日(金)  
**場 所** TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口(宮城)  
**施設見学** 女川原子力発電所 **参加人数** 22名

第17回安全担当者会議を仙台市にあるTKPガーデンシティPREMIUM仙台西口にて開催しました。今回の安全担当者会議では化学総連が5年毎に実施している安全アンケート結果と災害事例報告を行いました。

安全アンケートについては環境安全委員会の村田委員より報告がありました。今回で3回目のアンケートとなりましたが、化学総連全体としては改善傾向であることを確認しました。一方、減少傾向となっている項目があるため、課題と対策について共有化を図りました。今回は化学総連全体の結果でしたが、これからは各単組で支部・職場単位での解析が行われます。ぜひ今回のアンケートを活用していただき職場改善の一助になればと思います。

次に災害事例水平展開の共有を行いました。災害事例報告として3単組から報告があり、発生原因と対策まで深掘りし発表を行いました。いずれも大きな事故、重篤な労災であり、類似災害が発生しないよう安全担当者が積極的に意見交換を行っていました。

施設見学として安全・運転管理が非常に厳しいとされる東北電力女川原子力発電所を訪問しました。発電所の概要説明後に模型を使って原子力発電の仕組みと安全性について見識を広め、VRを使って発電所内部の見学を行いました。その後は車窓から発電所の全体を見学しました。特に津波対策の防潮堤海拔29mの壁は非常に高く、東日本大震災の教訓として更に安全性を高めていることが伺えました。



開会挨拶を行う  
山本環境安全委員長



安全アンケートの発表を  
行う村田環境安全委員



災害事例報告を行う丸田氏  
(デンカ労働組合)



質問する青木氏  
(信越化学労働組合)



女川原子力発電所集合者写真



VRで原子力発電所内部  
を見学する面々

## 【スペイン労働事情調査団】

昨年度は新型コロナウイルスの5類移行を受け、約4年ぶりとなる海外労働事情調査をタイにて実施しました。今年度の開催地は検討の結果、化学総連として30年以上調査を行っていないスペインのマドリッド、カステリオン、バルセロナの企業や工場を訪問しました。

スペインの経済状況や国際情勢の動向はもちろん、コロナ前とコロナ後の各社の働き方や労働環境の変化、現地従業員の労働力確保の課題や離職率、現地従業員に対する人材採用や安全教育方法、晴天の多いスペインのマドリッドや地中海沿岸都市での労働環境改善に向けた対策や取り組み、現地従業員とのコミュニケーションにおける工夫点や苦勞した点、現地駐在員の生活事情(通勤・医療体制)など様々な調査を行いました。

工場見学に関しては、UBE Corporation Europe, S.A.Uは計器室内、AGC Pharma Chemicals Europe, S.L.Uでは研究所内にも立ち入らせていただき現地工場を視察することができました。どちらの工場も経営層と従業員が笑顔で挨拶や会話している様子から距離感が非常に近い感じられました。また、スペインでは人材採用の際は、在学中よりインターンなどを含め半年から1年間ほどかけて安全教育や仕事について教えており、日本のように入社後の業務のミスマッチが起きにくい事に参加者は驚いておりました。

工場見学に関しては、UBE Corporation Europe, S.A.Uは計器室内、AGC Pharma Chemicals Europe, S.L.Uでは研究所内にも立ち入らせていただき現地工場を視察することができました。どちらの工場も経営層と従業員が笑顔で挨拶や会話している様子から距離感が非常に近い感じられました。また、スペインでは人材採用の際は、在学中よりインターンなどを含め半年から1年間ほどかけて安全教育や仕事について教えており、日本のように入社後の業務のミスマッチが起きにくい事に参加者は驚いておりました。

国や地域によって、同じ課題を抱えていてもその理由が異なることもあり、海外で実際に現地の方の声を聴けて良かったと改めて感じました。今回の調査においては欧州地域と日本の物価の差も実際に現地に行くことで実感できました。今後も社会情勢等を考慮しながら開催を検討したいと考えております。



駐在員懇談会の集合写真



JETRO SPAIN 打ち合わせ



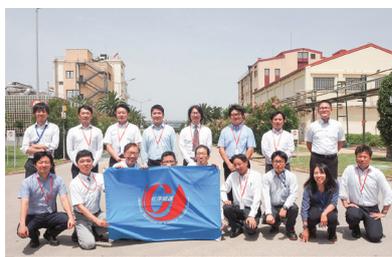
UBE での意見交換



UBE 工場見学の集合写真



AGC での意見交換



AGC 工場見学の集合写真



駐在員懇談会の様子

日時	2024年6月23日(日)～29日(土)		
場所	マドリッド、カステリオン、バルセロナ	参加	13名
公式行事	JETRO Spain訪問、UBE Corporation Europe, S.A.U訪問、AGC Pharma Chemicals Europe, S.L.U訪問、現地駐在員懇談会&懇親会		

## 【第107回調査担当者会議】

日 時	2024年7月8日(月)～9日(火)
場 所	松江エクセルホテル東急(島根)
参 加	21名(web 4名含む)
施 設	島根原子力館見学、出雲大社参拝
ボランティア	古浦海岸清掃ボランティア

第107回調査担当者会議は原子力施設見学および海岸清掃ボランティアを併せて実施するため島根県松江市にて開催しました。

施設見学は島根原子力発電所に隣接する島根原子力館を見学しました。2011年の東日本大震災以降、安全性の問題点などから世界的に原発へのネガティブな認識がより強まっており、陽光や風力などの再生可能エネルギーでの発電への動きが加速するなかで、参加者に対して原子力発電の安全とリスクの再認識、原子力エネルギー技術の理解などを深めていただきました。

また、原子力館の近くにある古浦海岸にて清掃ボランティアを実施しました。古浦海岸は海流などの影響から海洋ゴミが多く流れ着くため、月に1回程度地元ボランティア団体による清掃活動や他県のボランティア団体も受け入れておられます。非常に暑い中ではありましたが、参加者は時間が許す限り積極的にゴミを拾っておられました。

調査担当者会議は松江市のホテル会議室で開催し、テーマアップアンケート結果の共有や資格に関するオプション結果報告、2024年春季労使交渉結果の共有を行いました。取り巻く環境は、化学産業としては石油化学分野の低迷や中国の建設・住宅投資の減速にともなう経済回復の遅れが影響し、楽観視できない環境にあるなか、本年度も政界や経済界も含めた賃上げ機運が引き続き高まっていたこともあり、多くの加盟単組が賃金改善を含むベースアップを要求しました。結果として、昨年度に引き続き各単組において金額差はあるものの多くの加盟単組でベースアップを勝ち取ることができたとの報告がありました。



原子力館での集合写真



原子力館概要説明の様子



模型を使った説明を受ける参加者



海岸清掃の様子



清掃後の集合写真



開会挨拶する大熊副会長



会議の様子

## 【2024年労使勉強会】

2024年労使勉強会をAP日本橋で開催し、加盟各社の人事担当者および環境安全担当者にご参加いただきました。冒頭に瓜生会長よりご挨拶いただいた後、「安全」に関する3つの講演を行いました。

1つ目は、「第3回安全アンケート結果共有」と題して、化学総連の環境安全委員会より村田委員に講演いただきました。安全アンケートは「重大事故や労働災害に繋がりがねない不安全事象を提言するための個人・職場に有効な取り組み、ヒヤリハット・不安全王道の変化を検証すること」を目的に2014年度から5年に1度実施しています。化学総連全体のアンケート結果の傾向や分析内容について詳細に説明いただきました。

2つ目は、「化学業界の労働災害防止～令和5年度災害発生状況から～」と題して、中央労働災害防止協会の構 健一氏をお招きし、災害防止の方法などについて講演いただきました。製造業における死傷者数は増加傾向にあり、リスクアセスメントに基づき講ずべき措置を決定するのは事業者であるが、決定したことを労働者に周知し、必要に応じて修正するなど、労使で意識を高めていく必要があると強調されていました。

3つ目は、「ゼロ災害のための心の科学』～企業が果たすべき総合的安全対策のために～」と題して、化学総連の年度研修会や安全担当者会議でも講演いただいた信州大学人文学部教授 菊池先生に講演いただきました。「ミスをしなように教育する」ことも重要ですが、「人間である以上、ミスは必ず発生するものであるという前提のもと、組織的な働きかけを行い、ミスを起こしたくても起こらない環境をめざすことが必要」と強調され、各会社の環境安全担当者からも共感の声が挙がっていました。

また労使勉強会の後に懇親会も開催し、参加者からは普段会うことは少ない他社の人事担当者や環境安全担当者との交流や安全に関する知識を深める機会を作っていただいた事に感謝したいとの有難いお言葉もいただきました。化学産業の発展のため、今後も労使で行うイベントの開催も引き続き検討したいと考えています。



労使勉強会の様子



開会挨拶する瓜生会長  
(AGC労働組合)



講演する村田委員  
(カネカ労働組合)



質問する長尾 GL  
(三井化学(株)人事部)



質問する山本部長  
(デンカ(株)環境保安部)



講演する構氏



講演する菊池先生

日 時	2024年7月16日(火)
場 所	AP日本橋(東京)
参 加	48名

## 【2024年度第3回書記長・事務局長会議】

2024年度第3回書記長・事務局長会議を海流の影響などによりプラスチックゴミが多く流れ着く答志島の奈佐の浜海岸清掃ボランティアも開催するため、三重県伊勢市で開催しました。

答志島は伊勢湾に位置する離島で鳥羽マリンターミナルよりフェリーで約15分の距離にあります。22世紀奈佐の浜プロジェクト代表の小浦氏から答志島での活動内容を説明いただき、伊勢湾流域(愛知・岐阜・三重県)を発生源として流下するゴミは年々増え続け、現在は年間1万トン以上のゴミが流れつくとのことでした。台風シーズン前であったため、プラスチックゴミはピーク時の1割程度との説明でしたが、それでも多くのゴミが流れ着いており大変驚きました。30℃を超える大変暑い中ではありましたが、参加者は汗をかきながらも精力的にゴミを拾っていました。毎年秋頃には台風などの影響もあって大量のゴミが流れつくとのことでしたので定期的な海岸清掃活動も化学総連として検討したいと考えています。

また、書記長・事務局長会議ではテーマアップアンケート結果の共有を下田政策局長に説明いただきました。他単組と情報交換を行いたいテーマや化学総連から得たい情報や知見に関しては、化学総連の各会議体においてテーマとして取り上げることが事務局で検討したいと思います。また、今回の会議を開催する前に、各単組間で情報交換したいテーマを挙げてもらい、会議内で協議しました。「賃金改定」に関することはもちろん、「組合不就業の考え方」、「支部交付金の金額及び算式」、「組合活動における各単組の取り組み」、「キャリア採用者数と賃金水準」、「社宅・寮制度」、「組合周年行事」、「単組内でのスキルアップ支援」など実務面も含め単組間で情報交換いただきました。各単組の取り組み内容について、詳細な内容まで闊達な意見交換が行われました。



清掃後の集合写真

日 時	2024年7月17日(水)～18日(木)
場 所	伊勢パルビアホテル(三重)
参 加	19名
施 設	伊勢神宮参拝(有志メンバー)
ボランティア	答志島海岸清掃ボランティア



プロジェクトについて説明する小浦氏



海岸の様子



近くまで来るとプラスチックゴミが目立つ



海岸清掃の様子



会議の様子



意見を聞く峯岸会長代理



質問に回答する小関書記長(JSR労働組合)